



夕刊 日四月二十 行發日四月二十

磐城名物 靈峰羊羹 小川輝野前 平屋賣店

本社短歌會詠草 二

主催短歌會詠草 二 二日マルトモホールにて

1 〇累代の祖先の側に眠りある小路に今年の菊を 手向くる(秋間小路を悼む) 中 賢介

2 〇酒の量まされる父を愛ひつゝ夜寒さびしく母 と衣縫ふ 福田 弘子

3 〇秋雨の泥道ゆけば葉物屋の林檎の山の明るさ うれし 草野 多岐夫

社會の今日

鳴きまますその驚が音 は冬暗れの、遙けき空

山ノ怪秘

戸隠 丸山寛雄作 奇譚 丸山 浪齋



身体ゆゑ、何れまた歸り途 家まで吾々共の懐んで

平七郎は道中合羽をゴソ 薬のあり場所を聞いたので

暗示とは何ぞや 日本姓名學會 東北支部長 鶴沼孝昌

川井内科診療所 平南町(電三四三) 川井安子

冬呉服大賣出し 十二月一日より十二月七日迄

品質第一 平牛乳舎 電話二六八番

三井呉服店 謹啓初冬の候各位益々御清祥の段

耳科専門 平町田町七〇番地 山内醫院

シヨール 防寒洋品 中野洋品店

磐城共済病院 小児科 産科 婦人科

安齊外科醫院 花柳科 皮膚科 泌尿科

